

すべての人に  
やさしい **医療介護** を



### ごあいさつ

平素より私の政治活動にご理解とご支援を賜っておりますこと心より感謝申し上げます。

急速な感染拡大を辿る新型コロナウイルス感染症に対応頂きながら、地域医療を守っておられます医師会会員各位の並々ならぬご努力の一旦でも担えるよう、去る11月17日に参議院厚生労働委員会におきまして大臣所信に対する質問に立たせて頂きました。

現在、医療提供体制も医療機関の経営も疲弊し逼迫している状況の中、財政論で患者負担を増やす議論が進められようとしています。

地域医療が崩壊しないためにも医療機関支援と感染防止対策また感染の封じ込めが第1と考え、「一軒の医療機関もコロナによって失ってはならない」と厚労大臣に進言いたしました。引き続き、地域医療を支えておられる現場の声を国政へ届ける使命と責任を担って参ります。

委員会質問概要版を作成致しましたので是非ご一読頂き、コロナ対応のみならず全ての疾患と向き合っておられる皆様のお声を賜れば幸いに存じます。

参議院議員 **羽生田 俊**

# 羽生田 だより 質問概要

令和2年11月17日(火)

参議院厚生労働委員会



1

### 【高齢者2割負担導入について】

**羽** 後期高齢者の患者負担割合を2割とする議論が進んでいるが、そもそも「高齢者の医療の確保に関する法律」において現役並所得者3割、それ以外1割と規定されており、一律に負担割合を増やす事は認められない。患者一部負担での**応能負担は「限定的」**であるべき。国民の納得と理解を得ることが必要である。

**大** 先生ご指摘の様に実態として年間の自己負担医療費が若い方より多くなっている部分があり、高齢者自体の負担感も以前よりかなり増している。やはり負担能力に応じた負担でなければ医療が受けられなくなり重症化にも繋がる。**高齢者の実態も勘案しながら判断してゆく。**

3

### 【ワクチン製造に関する支援について】

**羽** ワクチン・治療薬研究開発及び製造支援について、迅速な供給を考えれば**研究開発途中で製造ラインの整備を行う事が必要である**。開発途中での先行投資は民間企業にとってはリスクにもなる。研究開発一定段階での製造ライン整備着手への支援は如何か。

**副** ワクチンの迅速な供給の為に**研究開発段階から平行して生産体制を整備する事は大変重要だ**。企業が生産体制整備に要する費用助成をワクチン生産体制緊急整備事業にて行っている。2次補正においても1377億円の事業規模を計上し現在6事業社総額902億円の交付を決定して供給に必要な支援を行っている。

2

### 【オンライン資格確認導入に関する財政支援について】

**羽** 田村大臣が10月30日にマイナンバーカードの保険証利用普及に向けた**新たな加速化プラン**を公表された。オンライン資格確認を導入する医療機関に対して、システムや設備の設置や普及に際しての財政支援をお願いしたい。また適正価格となるよう厚労省から指導の徹底と、全ての医療機関が令和3年3月から一律に対応することが難しく患者自身が事前の申し込み手続きを必要とする旨の広報などを丁寧に行い、国民や医療現場に負担がかからないよう努めて頂きたい。

**大** 現在導入の為に補助があるが、コロナ禍で経営状況が厳しい中であり、期間を来年3月までに発注という所に区切って**10分の10（100%）補助**をし普及を図る、適正な価格に関しても国がベンダーに再度依頼をかけてゆく、また運用に至るまでには一定の時間が必要になってくると考える。

**羽** 来年3月までと言わずに**期間を延期**してほしい。

4

### 【治験について】

**羽** 治験において安心安全の確保の為に十分な被験者数を求めているが、日本での発症数や治験対象者が確保出来ない場合の**治験のあり方、承認審査のあり方**などの検討が必要ではないか。

**副** 感染者数が少ない等の理由で日本人を対象とした大規模な検証的臨床治験の実施が困難な場合であっても、海外で発症予防効果を評価する臨床試験が実施される場合は国内臨床試験を実施する事で十分な場合があるとされている。国内外の治験データ等と最新の科学的知見を踏まえ日本人における**ワクチンの有効性、安全性等についてしっかり確認**してゆく。

5

### 【ワクチン供給量に関する国の支援と責任について】

**羽** 感染症アウトブレイク時のワクチン供給量において、国が必要と判断した場合等、メーカー等に対し増産依頼通知などを国の責任で行い、材料調達や設備増強・備蓄等を含めた支援体制が必要と考えるが、国民への安心の担保として国の責任において十分な数の確保に努めるべきと考える。**ワクチンは国の安全保障の1つである。**

**健** 緊急時・平時とも国民の皆様にはワクチンを安定的に供給する体制を構築することは**大変重要と認識**している。緊急時にはワクチン生産体制など緊急整備事業を実施し、平時対応については審議会において安定供給の在り方も含めた**予防接種施策全体の見直し**を進めている。





厚生労働大臣  
田村憲久



ワクチン製造工場視察



加藤官房長官へ成育議連として小児科支援の要望

羽 羽生田俊

大 田村憲久 厚生労働大臣

副 山本博司 厚生労働副大臣

健 健康局長 (政府参考人)

保 保険局長 (政府参考人)

医 医政局長 (政府参考人)



6

### 【医療機関支援について】

羽

二次補正において医療機関支援を頂いているが、交付時期のばらつきなど届くまでの時差があり、大変厳しい第一線の現場を支える医療機関への支援はあらゆる検討が必須である。迅速に間を空けずに支援を行い「一軒の医療機関もコロナによって失わない」との大臣の決意を頂きたい。地域医療を支えコロナだけでなく様々な疾患に対応している医療機関への支援を切れ目無くお願いしたい。

大

一次・二次補正・及び予備費と支援に3兆円ほど入れてきた。その中で執行が遅い旨の話もあった。その上で先生ご指摘の通り、新型コロナウイルス感染症の患者にご対応頂いている医療機関も重要であり、コロナ以外の国民の健康をお守り頂いているという意味では一般の医療機関も大変重要な役割を担っている。しっかりと国民の健康を守るための医療機関が存続を頂けるよう必要な対策を講じる。

7

### 【医療機関を失わない決意】

羽

一軒の医療機関もコロナによって失ってはならないという決意をお願いしたい。

大

医療機関、一生懸命やって頂いておられる、国民にとって必要な医療機関がしっかりと守られるように頑張って参る。

8

### 【成育基本法に基づく子どもの要の小児科支援】

羽

医業経営実態調査において小児科・耳鼻咽喉科の医業経営が大変厳しい状態である、特に小児科において自見はなこ先生を先頭に支援要望などに努力しているが、地域の子どもを守る小児科がないとその地域での子育ては出来ない。「成育基本法」に基づく子どもたちの健やかな成育を確保するためにも地域の小児科が必要と考える。

大

成育基本法を踏まえた子どもたちの健やかな成育を確保する。これは大変重要な事だと思う。その為に小児科医の先生方がご活躍頂いている事も十分に理解している。財政当局とも検討し地域において小児科医が、活躍頂ける様な環境を整えて参りたい。

9

### 【200床以上の定額負担拡大と機能分化について】

羽

200床以上の一般病院への外来受診時定額負担については、本年4月に地域医療支援病院に拡大されたばかりで、十分な検討と議論が必要であり、機能分化においても規模だけでなく地域での役割などを含めた医療資源を評価する事により機能分化も進むと考える。

保

外来における機能分化などを推進する観点から、紹介状なしで大病院を受診する場合の定額負担につきまして大病院、中小病院、診療所の外来機能に明確化を行いつつ、それを踏まえ対象病院を病床数200床以上の一般病院に拡大する方向性が示されているが、一律に200床以上の病院全てではなく外来機能の明確化を行い検討する。定額負担拡大範囲は地域の実情に配慮し丁寧に議論を行って参る。

10

### 【受診控えや治療の先送りに関する懸念】

羽

新型コロナ感染症を心配する余り受診控えや健診・予防接種の先送りなどが顕著であり、重症化リスクを含め正しい受診行動に至っていない現実がある。広報や啓発を含め十分な理解が進むよう国が推進すべき。

大

コロナ禍で医療機関が感染の恐れがあると思われ受診を控える話が度々出ている。やはり必要な医療はちゃんと受けて頂く事が重要であり、医療を受けないというのは自身の健康を大きく害してしまう恐れがある。色々な形でしっかりと広報に努めてゆく。

11

### 【医師の働き方改革について】

羽

地域医療確保暫定水準（年960時間）や集中的技能向上水準（年1860時間）などによる医師の働き方改革が議論されているが、地域では医師派遣機能や医師の確保、長時間労働の規制などが大変憂慮されている。基金等の活用を含めた医師確保支援や人件費をどう報酬評価するかなど、どのようにお考えか。また十分な検討の為には今後のスケジュールの延長が必要ではないか。

医

医師の働き方改革により大学病院等から医師派遣の縮小などの懸念がある事は承知している。検討会においても複数の医療機関で勤務する医師にも配慮した制度設計の議論をしている。診療報酬評価については適切な労務管理を実施すること等を要件とした入院医療の提供に係る評価の新設をした。また、地域医療確保における特別な役割を担っている医療機関で診療報酬の地域医療体制確保加算の要件を満たさない施設のうち、過酷な勤務環境になっている医療機関の医師の労働時間短縮のための体制整備に関する取組に必要な経費を含め地域医療総合確保基金により助成する仕組みを新設した。スケジュールについては関係者のご意見を伺いながら引き続き検討を進めて参る。



参議院議員  
羽生田俊



ワクチン研究所視察



奈良県医師会理事会



薬事に関する小委員会



人生100年時代戦略本部

#### 羽生田たかし 国会事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館319号室  
TEL: 03-6550-0319 FAX: 03-6551-0319

#### 羽生田たかし 群馬事務所

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町2-10-13  
TEL: 027-289-8680 FAX: 027-289-8681

羽生田たかしオフィシャルサイト

<https://www.hanyuda-t.jp/>

Facebook 羽生田たかし 検索

Twitter 公式アカウント @hanyuda\_takashi

メール mail@takashi-hanyuda.com